

長谷川 望 牧師

*そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしていただきます。この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。（ヨハネ14：16～17）「真理の御霊」（＝「聖霊」「み霊」など）とは、父、子、御霊の三位一体の神であり、聖霊はすでに天地ができる前から存在していた永遠に生きる方である。ペンテコステの出来事の時に降臨され、より明らかな形でその働きが示されるようになった。聖霊は「助け主」であるといわれる。元々の意味は「そばに呼ぶ」という言葉からきており、裁判のときの「弁護者」という意味でもある。イエスご自身が「もう一人の助け主」と言われたように、十字架で死に、復活の後昇天され、地上では見えなくなるので、代わりに聖霊を呼んであなたがたを守ってあげるといっているのである。「世」とはイエス・キリストを信じない、受け入れない、罪にまみれた場所という意味で用いられており、イエスを受け入れない者は聖霊をも受け入れないのである。

*そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。（使徒2：38～39）誰でもイエスを救い主と信じ、悔い改めてバプテスマを受ければ、聖い神がその人の中に「宿る」と約束されている。「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてさせていただきます。」（ヨハネ14：26）長い間イエスとともに居てもなかなか悟らない弟子たちは、そのイエスがいなくなったらどうなるのだろうと思われるが、代わりに送られる聖霊が真理を教え、イエスのことを証しして思い出させてくださる。

*これは今の私たちにも約束されているのである。あなたがたも証しします。初めからわたしと一緒にいたからです。（ヨハネ15：27）御霊が教えてくださる通御霊に満たされて歩んでいきたい。